

第5章 整備・活用計画

1 整備・活用の基本方針

大明神寮は、菅平高原実験所の山地（陸域）に関わる教育研究の発展を支えてきたとともに、菅平高原の合宿・研修などの中心地として発展してきた歴史を代表する建物である。

菅平高原実験所は、教育研究活動の一環として大学・大学院だけでなく、自然教育、ナチュラリストの養成・支援など、小中学生・高校生や一般社会人を対象とした社会教育活動を精力的に行ってきた。これらの活動に大明神寮が中心的な宿舎として果たした役割は大きい。さらに、建築として優れた意匠を持つ大明神寮と、なだらかに広がる草原、また背景となる根子岳と四阿山の山容は、児童・生徒・学生から一般社会人まで幅広い年代層が参加する社会教育活動に豊かな環境を提供するものである。

この大明神寮の建築的価値を維持するとともに広く市民に開放すること、また本学における研究活動や他の教育機関・市民の学習活動の拠点施設として活用すること、さらに実験所の自然や歴史に関するビジターセンターとして活用することを基本方針とする。

これらの活用の実現には、建築の維持に必要な耐震補強を含む修理や、機能の維持に必要な修理等、さらには活用を目的とした整備など、各種の課題が伴う。

この計画では、事業を短期、中期、長期に分けて計画している。整備内容は、優先度の高いものから実施していくものとし、実行予算の配分等により、変更もありうる。

2 短期計画

（1）短期計画の目的

主に大明神寮の建築的価値の維持と機能回復を目的とした修理・整備を行い、広く市民に開放するとともに、本学の教育研究活動での活用を進める。

（2）活用方針

歴史的、建築的価値をもつ大明神寮を市民や本学の学生が利用できるようにする。

基本的に、昭和46年増改修後に維持されてきた現状を修理して公開するが、宿泊室1の押入については、当初は床の間であり床柱や床板（とこいた）が残ること、また容易に復することが可能であることから床の間を復原し、当初の宿泊室の在り方をあらわす部屋とする。

また、男女トイレについては「第2章 保存管理計画 4 修理計画」に述べたように、多数の利用に対応するように改修する。

（3）修理・整備内容

ここでは活用に必要な整備とともに、「第2章 保存管理計画 4 修理計画」に述べた修理内容も併記する。

① 劣化部分の修理

- ・外壁の修理（最大限に材料が保持されるように、最小限の補修にとどめる。埋木・当て木等による補修等）
- ・屋根の葺替え（防水シートを新規敷設し雨仕舞は万全とする。母屋・垂木・屋根下地

- の腐朽部分取替えを行う。軒裏の化粧野地板は柿渋塗とする。)
- ・内装・建具の修理や更新（床・壁・天井の汚損・破損箇所等）

② 耐震補強

- ・精密診断法による耐震診断の実施と診断結果に基づく補強、西側基礎の補強

③ 男女トイレの機能回復（修理及び整備）

- ・トイレ内装の改修（床面レベル変更の際は、現在と同等タイルを使用し、現状デザインを保持する）
- ・衛生設備の更新、洋式化
- ・給水設備の更新
- ・汚水処理の水栓化

④ 電気設備の更新

- ・幹線設備、電灯・コンセント設備、弱电設備の更新

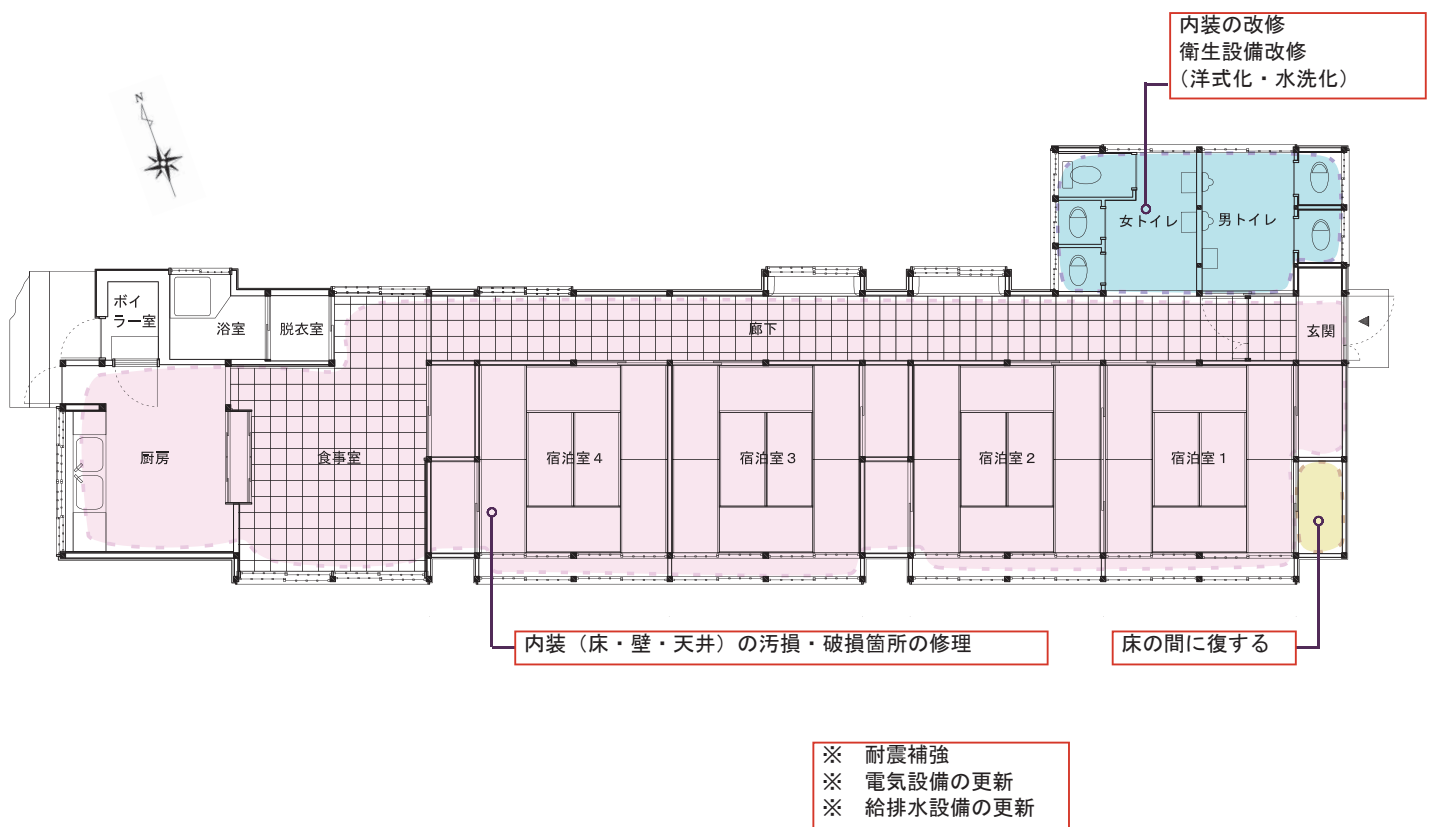


図 3-4 短期計画模式図（平面）

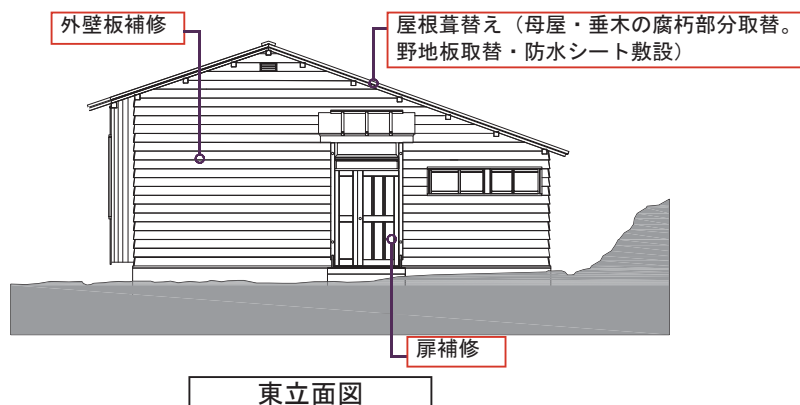
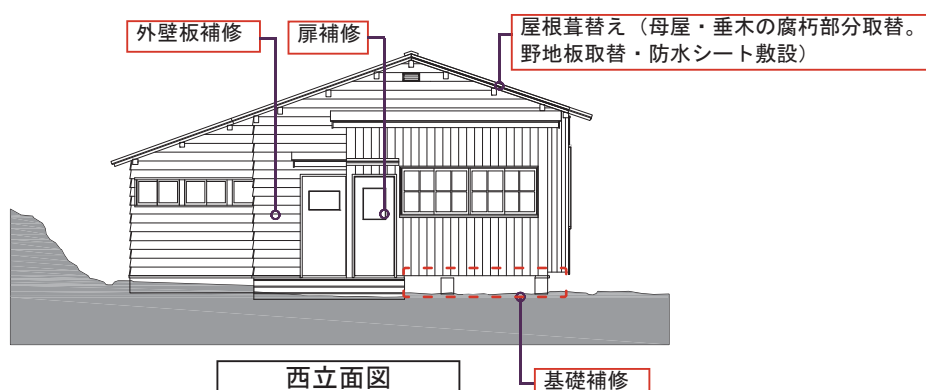
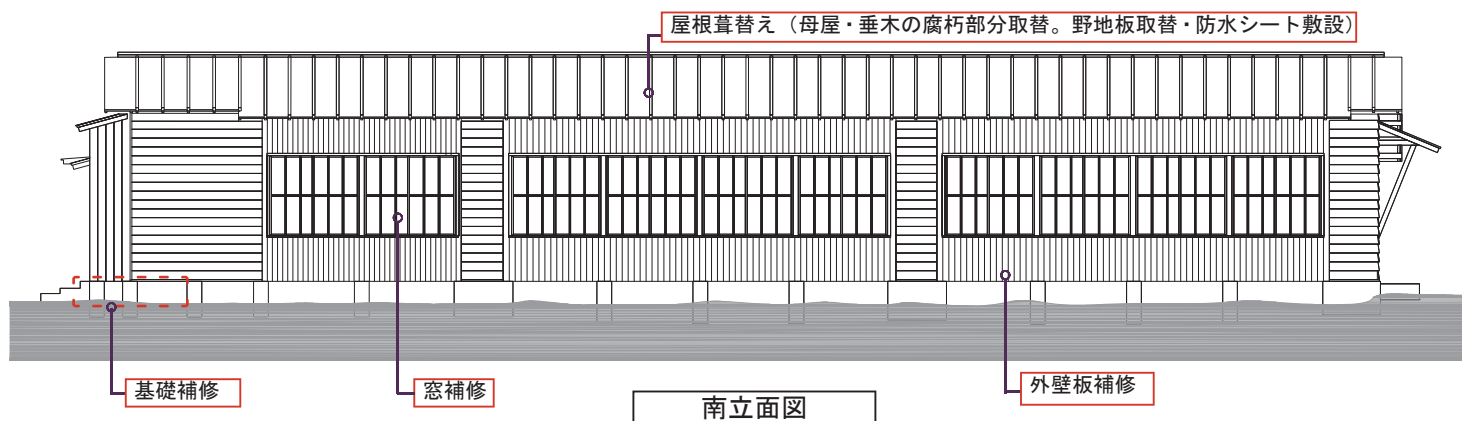
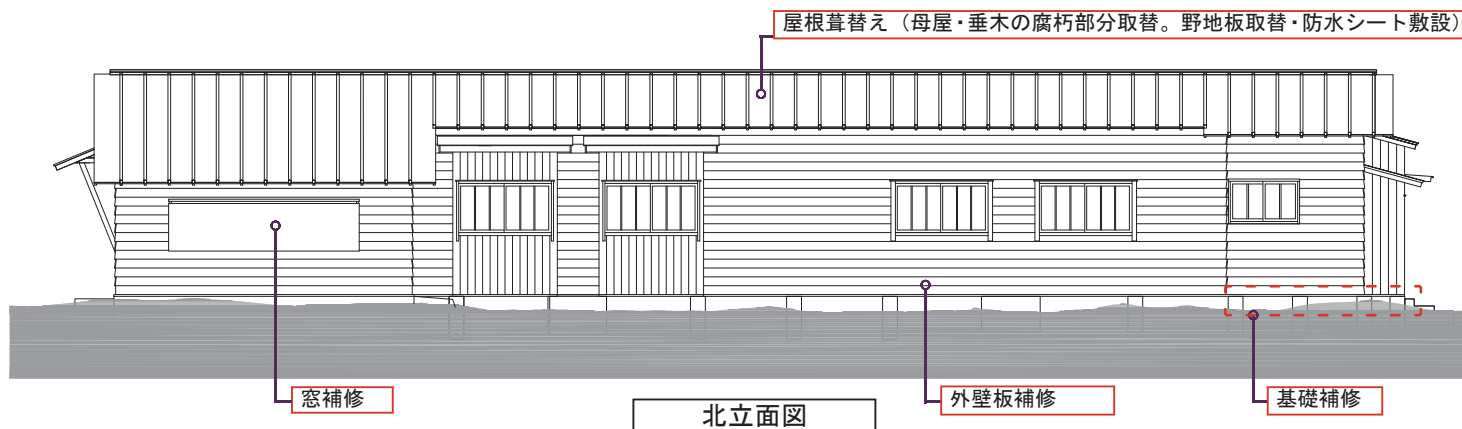


図 3-5 短期計画模式図（立面）

3 中期計画

(1) 中期計画の目的

大明神寮の屋内を整備し、市民の学習やナチュラリストの活動ならびに菅平高原実験所における本学および学外の学習活動の拠点施設とする。

(2) 活用方針

大明神寮において、市民を対象とした野外教育活動やナチュラリストの研究活動、ならびに本学の様々な実習などの教育活動や研究活動を行う。宿泊室各室を複数のグループが同時に利用できるものとし、フスマの開閉により調整して2室を1室としての使用も可能とする。床の間のある宿泊室1は当初の在り方を示しつつ利用する。

さらに、食事室は内装を改修して展示及び喫茶・談話室に、また厨房は流しの機能を回復して給湯室に利用する。この展示では菅平高原実験所や大明神寮の歴史や意義を伝えるものとする。

(3) 整備内容

① 宿泊室

- ・各室の空調設備の整備（年間利用を想定）
- ・宿泊室3・4間の後補の間仕切りをフスマに復元
- ・宿泊室2・3・4の用途に応じた家具による内装調整（和室対応什器、壁面可動パネル等）

② 食事室

- ・内装改修
- ・空調設備の整備
- ・展示什器設置（ピクチャーレール、展示台・棚等）
- ・展示スポット照明設置
- ・グラフィックパネル製作設置

④ 厨房

- ・厨房流し（現状保持）、給排水配管更新、ガスまたはIHコンロ設置、冷蔵庫・収納庫設置
- ・内装改修

⑤ その他設備の更新

- ・洗面台の給排水設備更新
- ・内装改修に伴う電灯・コンセント設備改修
- ・インターネット環境の整備

展示内容案

展示テーマ

「菅平高原実験所・大明神寮の歴史」
「菅平の自然」

「実験所、大明神寮の歴史」を表すものとして、実験所の棟上げ写真や建設当時の大明神寮の写真等建築資料、また朝永振一郎博士（ノーベル物理学賞受賞、1956～1961 東京教育大学学長）の視察の様子などの写真を多数展示することで、先人が心を合わせ、懸命に山地（陸域）に関わる教育研究を推進し、また、大明神寮のような合宿所を建設、発展させて菅平の今があるストーリーを伝える。

展示見学の後、見学者は厳冬期を切り抜けるために設えた二重窓、凍結防止を見込んだ廊下に並ぶ洗面所を実見することになり、メッセージは印象をさらに強いものとする。

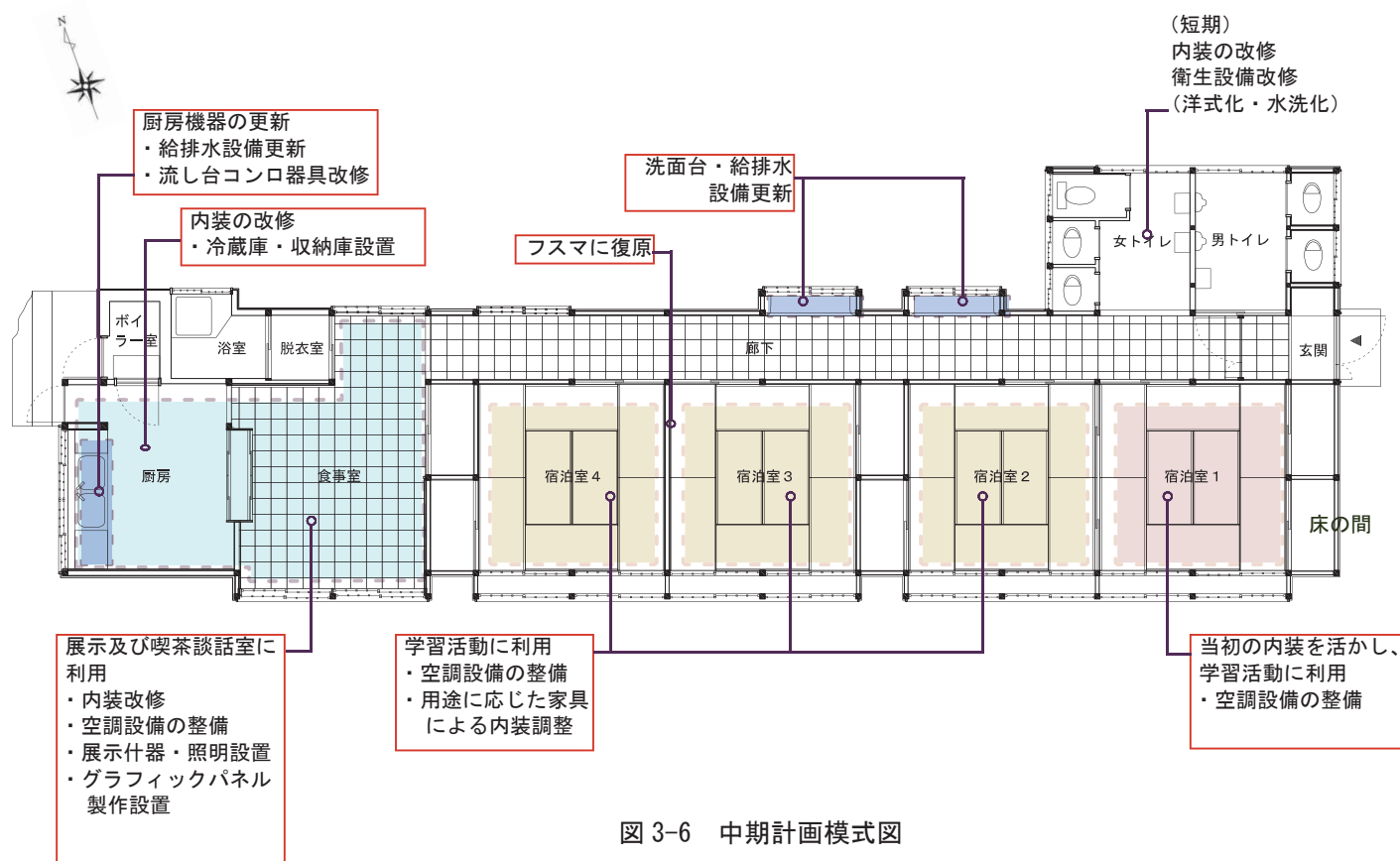


図 3-6 中期計画模式図

4 長期計画

（１）長期計画の目的

野外活動に必要な浴室機能を回復するとともに、周辺の屋外を整備することにより、実験所の自然や歴史に関する学内外を対象としたビジターセンターとして活用する。

（２）活用方針

菅平高原実験所は、構内の優れた自然を活用して、四季を通じて、大学のみならず、小中学校、高校の教育活動や社会教育活動を行ってきた。この豊かな自然環境の中に建つ大明神寮及び周辺地の整備により、本学内外の教育活動におけるさらなる活用を図る。

本実験所が提供する教育プログラムは野外活動を中心とするものが過半を占める。この活動において、快適性及び保健・衛生の面からシャワーを備える浴室の機能回復を行う。

また、周辺に広がる芝生広場に屋外体験学習や昼食に使えるような最小限の便益施設を整備することにより、教育活動をより立体的かつ効果的なものとするとともに、受講者・利用者に憩いの場を提供する。

さらに、南道路側からの動線を整備し、大明神寮へのアクセスを改善する。この隣接地は多くの利用者が訪れる菅平高原スポーツランド（サニアパーク菅平）であり、適切な誘導により大明神寮の周知と利用者の拡大に有効となる。

(3) 整備内容

① 浴室の機能回復

- ・浴室内装の改修
- ・シャワーを備える給排水設備の整備
- ・ボイラー及びボイラー室の改修
- ・上記に伴うガス・電気設備の改修

② 周辺地の便益施設

- ・屋外水栓の設置
- ・簡便な日除け（サンシェード）の設置
- ・ベンチの設置
- ・屋外解説板の設置

③ 門・通路の整備

- ・通用門の設置
- ・駐車帯の確保（数台分）
- ・通路整備（パーク・ウッドチップ等簡易な小径）
- ・案内・誘導標識の設置

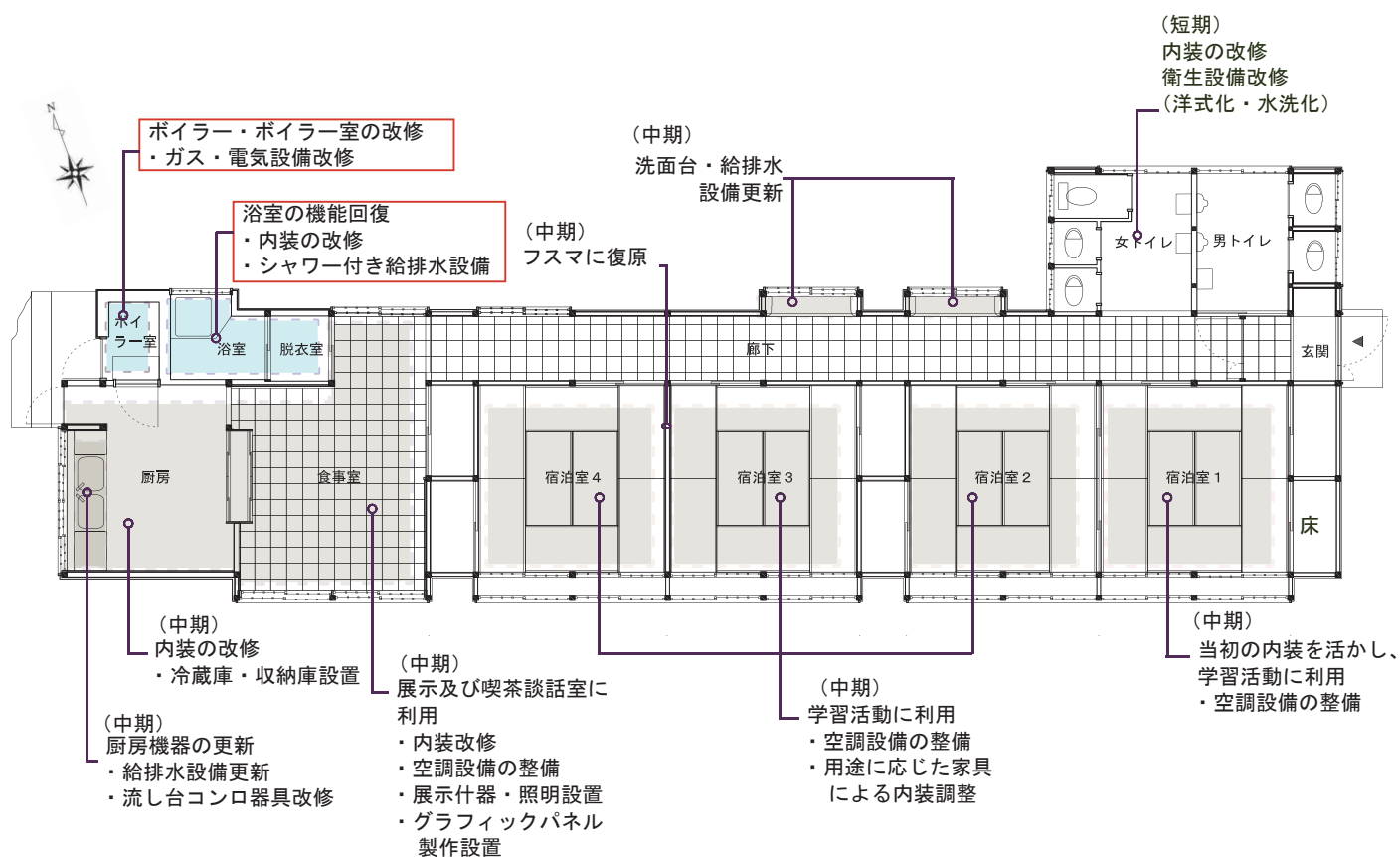


図 3-7 長期計画模式図（大明神寮）

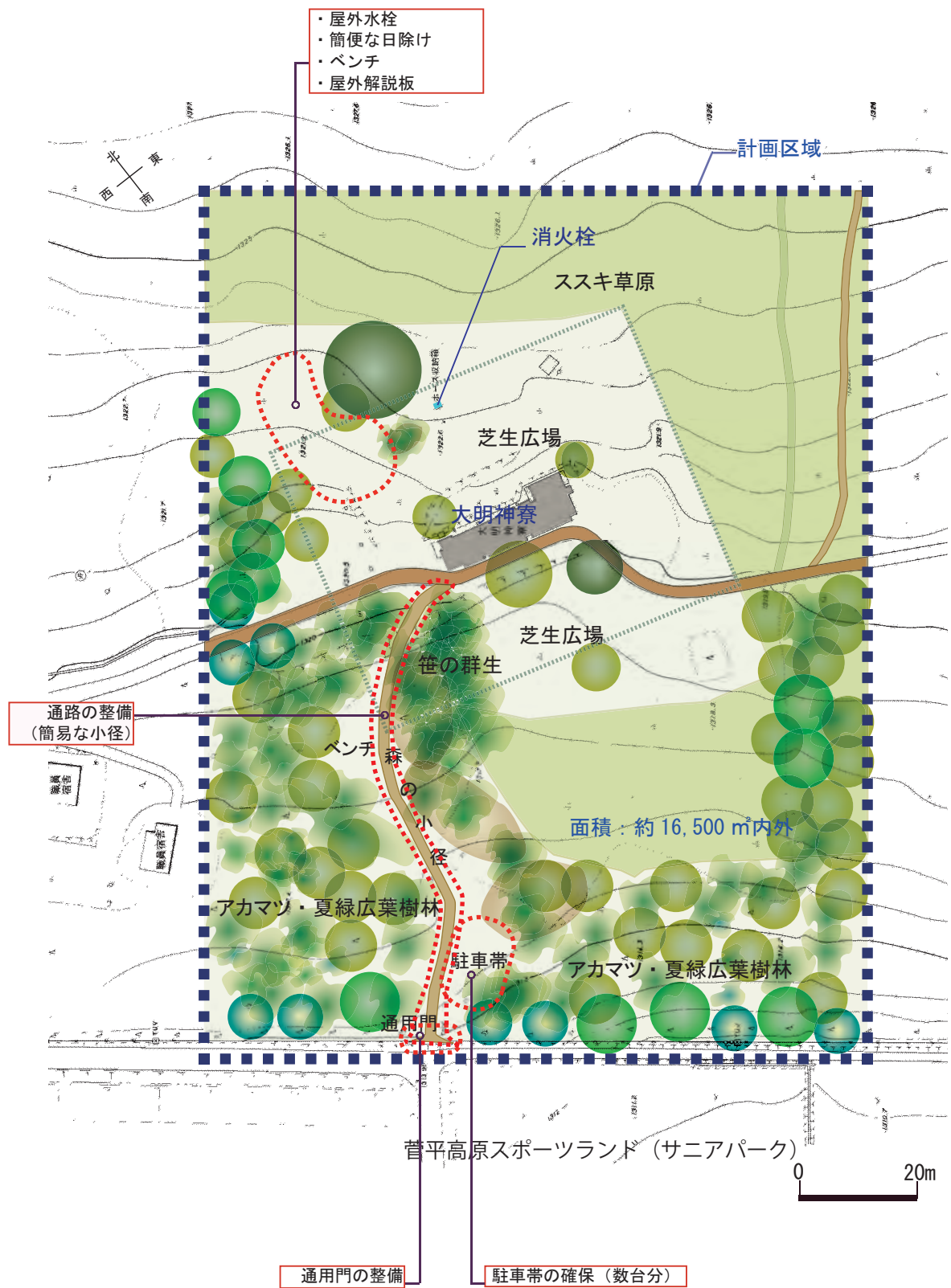


図 3-8 長期計画模式図 (周辺整備)

5 普及・教育活動

大明神寮を活用した教育活動では、以下のようなことが考えられる。

① 小中学校、高校などの見学

これまでに、上田市の小中学校（例えば菅平小中学校）、長野県高校（例えば上田高校、飯田高校）、全国の学校（例えば前橋女子高、清泉女学院中学高等学校、普連土学園高校、清真学園高校）の多くの林間学校、理科教室、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）を引き受けてきたが、大明神寮の整備により、さらに教育効果を高めた活動を行っていく。

② 「やまなか自然講座」の開講

菅平高原実験所では、生物学に関わる講座「まちなか自然講座」～昆虫・植物・菌類～を上田市街にある「まちなかキャンパス」（上田市学園都市推進室）に提供している。その姉妹講座として現場での実物に即した生物学に関わる講座「やまなか自然講座」を大明神寮を教室として上田市民を対象に開講することを提案する。

③ 「自然観察会」の開催

四季を通じて、ナチュラリストの協力を得ながら、構内の自然観察会を開催している。整備後の大明神寮は観察会の拠点となることが期待される。

④ 「5大学リレー講座」の開講

上田市教育委員会生涯学習・文化財課は、信州大学、長野県工科短期大学校、上田女子短期大学、長野大学、筑波大学の5大学によるリレー講座を開講している。その一つとして、大明神寮は唯一無二のロケーションを提供することができると考えられる。

⑤ 「文化財 de 文化祭」への参加

上田市教育委員会生涯学習・文化財課は、平成27年（2015）より、文化財を活用した文化的活動「文化財 de 文化祭」を推進してきた。これまでに、常楽寺、旧宣教師館、妙見寺、別所神社、信州大学繊維学部講堂などで、コンサート、演劇公演などを開催してきた。登録有形文化財大明神寮での開催は、本実験所との協同により自然科学をテーマとした新しいメニューを提供できる。

⑥ 「ナチュラリスト」の活動の支援

平成22年（2010）より社会貢献プログラム「ナチュラリスト養成講座」を開講しており、多くのナチュラリストが育ち、ボランティアとして実験所で行われる自然観察会などをサポートしている。大明神寮をナチュラリストの活動拠点として整備し、充実させることは、その活動を力強く後押しすることとなる。

⑦ 地元からの要請への対応

菅平高原は林間学校や自然観察を目的とした観光客が多く訪れる。観光客に対しての自然講座の要請に応えることにも、大明神寮は大いに活用が期待される。

⑧ 筑波大学の教育・研究活動

これまでも菅平高原実験所において、学内および他の教育研究機関が実習・授業での利用や研究・調査への利用を行ってきたが、現状の施設では容量が限界に達しており、大明神寮の活用により、より活発な学内外連携が可能となる。

6 事業計画

大明神寮の整備・活用事業は概ね10ヶ年を計画期間とする。短期計画は3ヶ年後、中期計画は5ヶ年後、長期計画は10ヶ年後の完成を目指していく。

この間、大明神寮を活用した普及・教育活動は可能なものから順次取り組みを開始する。

なお、保存管理はこの事業完成後も継続する。

整備計画表

年次	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
計画分類	短期計画			中期計画		長期計画				
目的	・ 広く市民に公開 ・ 本学の教育研究活動に利用			・ 市民の学習やナチュラリストの活動ならびに菅平高原実験所における学内外の学習活動の拠点施設		・ 学内外を対象としたビジターセンター				
整備内容	①劣化部分の修理 ・ 外壁の補修（埋木等による） ・ 屋根の葺き替え（野地板取替え、防水シート敷設、母屋・垂木・の腐朽部分取替え） ・ 内装・建具の修理や更新（床・壁・天井の汚損・破損箇所等） ②耐震補強 ・ 精密診断法に基づく耐震補強、西側基礎の補強 ③男女トイレの機能回復（修理および整備） ・ トイレ内装の改修（現状の雰囲気を保持する） ・ 衛生設備の更新、洋式化 ・ 給水設備の更新 ・ 汚水処理の水栓化 ④電気設備の更新 ・ 幹線設備、電灯・コンセント設備、弱電設備の更新			①宿泊室 ・ 空調設備の整備 ・ 後補の間仕切りをフスマに復原 ・ 各室の用途に応じた家具による内装調整 ②食事室 ・ 内装改修 ・ 空調設備の整備 ・ 展示什器設置 ・ 展示スポット照明設置 ・ グラフィックパネル製作設置 ④厨房 ・ ガスまたはIHコンロ、給排水配管更新、冷蔵庫・収納庫設置 ・ 内装改修 ⑤その他設備の更新 ・ 洗面台の給排水設備更新 ・ 内装改修に伴う電灯・コンセント設備改修 ・ インターネット環境の整備		①浴室の機能回復 ・ 浴室内装の改修 ・ シャワーを備える給排水設備の整備 ・ ボイラー及びボイラー室の改修 ・ 上記に伴うガス・電気設備の改修 ②周辺地の便益施設 ・ 屋外水栓の設置 ・ 簡便な日除け（サンシェード）の設置 ・ ベンチの設置 ・ 屋外解説板の設置 ③門・通路の整備 ・ 通用門の設置 ・ 駐車帯の確保 ・ 通路整備（バーク・ウッドチップ等簡易な小径） ・ 案内・誘導標識の設置				

※整備内容は、優先度の高いものから実施していくものとし、実行予算の配分等により、変更もありうる。